

ほのぼの

第39号

平成27年

3月

発行

神戸市須磨区戒町1-2-3

TEL.078-732-5209

信行寺門信徒会



人生は幅広く深く

住職

日本では人生九十年の時代がきているそうです。しかし、長生きをすればいいというわけではありません。長寿もさることながら、人生には、幅の広さと深さ、つまり「ゆとり」がなければ虚しく悲しいものです。幅の広さとは、人生における視野の広さです。視野が狭ければ「井の中の蛙、大海を知らず」ということになります。深さとは、心の奥底に人生の基礎を置くことです。基礎が深ければ深いほど揺るぎはきません。これが浅いと欲望に流されるままになって不平不満の境界をつくってしまいます。

長寿を願い、医療技術が進歩し続けるなかで、

私たちは元気で生きておれることを「当然、あたりまえ」と考えがちです。「あたりまえだ」と受け止めるときは、自分が一番偉くなっているときですから、本当のことが届きません。聞こえてきませんし、見えてもきません。したがって、充実感や感謝の気持ちもわいてきません。

山口県の金子みずさんの「大漁」という詩があります。

朝焼け小焼けだ 大漁だ

大羽鰯の 大漁だ

浜は祭りのようだけど

海の中では 何万の

鰯のとむらいするだろう

また、「お魚」という詩もあります。

海の魚はかわいそう

お米は人につくられる

牛は牧場で飼われてる

鯉もお池で麩をもらう

けれども海のお魚は

なんにも世話にならないし

いたずら一つもしないのに

こうしてわたしに食べられる

本当に魚はかわいそう

私たちは食べなければこの身体を保つことができませぬ。魚の命をもらって生きている現実の中の「もうしわけない」という気持ちがこの詩には流れています。

昔のことです。西洋かぶれの学生たちが、お寺の和尚さんを「やり込めよう」と議論をしに行つたそうです。座敷に通され、学生たちの前にお茶が出されましたが、仏教よりも西洋哲学が勝れていることを和尚に分からせようと、お茶も飲まずに夢中になつて議論をしかけておつたそうです。

しばらく黙って聞いていた和尚は、急須にお茶を入れ、学生たちの茶碗にお茶をいれてゆきました。飲んでいない茶碗にどんどん注ぎますので、この光景を学生たちはあつけにとられて、議論も忘れて見っていました。そのうち、お茶は茶碗からあふれ、畳

の上にこぼれてしまいました。学生たちはどうしたらよいか分からずうろたえるばかりです。

和尚はそのとき「こんな時、西洋哲学ではどうしますか」と学生に聞きました。学生たちは返答に窮して答えることができません。すると、和尚は「仏教では、こんなときは拭きます」といって、こぼれたお茶を布巾で拭き取ったそうです。

学生たちは西洋哲学一辺倒で、幅も深さもなかったのです。つまり生き方にゆとりがなかったのです。他人ごとではありませんね。

無病は最上の利得 満足は最上の財産
信頼は最上の親族 涅槃は最上の安楽
というお釈迦さまのことばがあります。肚にいれてお念仏申しましょう。

神戸西組 合同報恩講

一月二十四日（土）に信行寺本堂で兵庫教区神戸西組の寺院が合同で報恩講をお勤めいたしました。

このように各お寺の住職様や門徒の方がたと触れ合う機会も有り難く、和やかな雰囲気のほか、報恩講の勤行に続き、信行寺の住職の御法話を聴聞いたしました。



西組の婦人会と有志の方による仏教讃歌もありました。初めて参加される方もいましたが練習を重ねてまいり、おかげで声がひとつにまとまり、心に染みるひと時となりました。

新春初法座

毎年一月五日に一年の始まりを門信徒の皆さんと迎える初法座。婦人会の方々の持ち寄りのお料理



も毎年バラエティー豊かで話しても弾みます。まずは、お勤めと住職の御法話で気を引き締めてから和やかに会食です。

今年は、小林元子さんが歌を歌って下さいました。

本年もますます、元気でコーラスやヨガ、旅行そして聴聞と楽しく皆様と輪を作り活動していきましょう。

阪神淡路大震災追悼法要

一月十七日（土）に追悼法要をいたしました。あれから二十年の月日が流れ、街並も人々も変わりましたが、私達の生活の営みは変わったのでしょうか？その心は伝えられているのでしょうか？

思いもしなかった逆境に向かい合う時にこそ、何

を日頃から大切に生きてきたかを問われる気がします。

家族であったり、友人であったり、仕事であったり、夢であったり、それぞれの培って来た時間がそのひとの生き方を支えています。

「地震にも負けない心をもって、今日を生き抜いて行こう」という素晴らしい歌（幸せ運べるように）が生まれたのもこの阪神大震災を経験したからでした。経験しないと見えてこないから、この悲しみを無駄にしないという思いが東日本の被災地へ世界の被災地へと繋がれているそうです。



私達、仏教讃歌のコーラスもこの追悼法要で、この歌に心を合わせ合唱いたしました。年月を経ても変わらない絆をこのようにバトンタッチしていこうと思いました。

いたやど保育園の避難訓練

昨年度、信行寺の向かいに新しく保育園が出来ました。毎日、可愛い園児の歌声が聞こえてきます。密集していた町が震災時の火災を教訓に区画整理されて戒町にも大きな公園が建設されました。そこが小さな子ども達の遊び場になっています。

一月十六日に避難訓練として園児たちが本堂に集まりました。

災害時には、信行寺が避難場所になっているのです。その際に震災当時大学生（二十歳）だった秀爾さんが二十年前の写真を映して子ども達に地震の話を行いました。



みんなすっかりと聞いてくれました。

建物も車もみんな壊れてしまい、秀爾さんは諸行無常を強く感じたそうです。そして「壊れないモノがあるとも感じました。それは、何だと思う？」と質問しました。子ども達からユニークな答えもかえってきましたが、「それは気持ち。人と人のつながりです。だからこそ毎日のあいさつや感謝、友達を思いやる言葉。気持ちを大切に過ごしましょう」と話をされました。

目に見えるモノは、壊れてしまいます。目に見えないモノを育てていくことが大切なのではないでしょうか。

米田 悦子

あれから二十年

米田 秀爾(三男)

信行寺が全焼した地震から二十年。当時二十歳だった私は今や四十歳です。十年ぐらい前までは、神戸出身だと話すと「地震の時は大丈夫でしたか」とまず聞かれたのですが、今では聞かれることはありません。人は忘れやすく慣れやすいものです。

小学校の教員となり、毎年のように子ども達に地震の話をしてきました。その時、世の中は「諸行無常」であるということも伝えてきました。目に見えるモノは壊れてしまう。だからこそ、「目に見えないモノの大切さ」そして、「日常の幸せ」について考えてほしいと思いました。

そして、震災は私自身の生き方にも大きな影響を与えました。いろいろな物を失い、生活を変えた出来事ですが、与えてくれたものもありました。様々な選択をしていく人生の中で、過去を悔やまず、今を大切にして生きて行こうと思うようになりました。

二十年后、0歳のわが子（莞爾）が成人を迎えるとき、地震が語り継がれ、人とのつながりの強い神戸の街になっていてることを願います。



震災焼け跡の信行寺



仮設プレハブの信行寺



現在の信行寺



信行寺（震災前）のイラスト



震災時の信行寺炎上のイラスト

陶器のおもちや

多田 清子

週に一度、区民センターの陶芸教室に通っています。習い始めて五、六年経ったころ、二歳の孫娘が（ままごと遊び）をしている動画が携帯に送られてきました。その姿を見ながらふと、本物の焼き物でミニチュアのティーセット等を造ったら遊んでくれるかな？と思いつき、ロクロを回して細かい作業



を自分なりに工夫して作りました。

そのミニサイズが小さな手に合ったようで「はいおちゃです、ケーキもどうぞ」などと言いながら、いまでは二つ年下の妹と楽しそうに遊んでくれています。

何でも続けていると思わぬところで役に立つこともあるのだなと思えました。

そのうち孫たちも（ままごと遊び）を卒業するでしょうがおもちや造りはいつの間にか私の楽しみとなり作品は増え続けています。（笑）

信行寺行事予定とご案内

春の彼岸法要

三月二十八日(土) 羽溪 了先生

* 法話の後、おときを「一緒に

二十九日(日) 住職

両日とも二時より

第十四回門信徒会総会

四月二十五日(土)

午後二時より

おつとめ、総会、法話

* 門信徒の皆様、一人でも多くの参加をお待ちしております

親鸞聖人 報恩まつり

日時: 五月二十八日(木) 午後一時より

会場: 神戸文化大ホール

* 弁護士 大平 光代先生講演

* 信行寺「雅会」もコーラスで

参加します。

◎ 入場には整理券が必要ですので、お寺にお問い合わせください。

◎ 編集後記

信行寺様とは私の両親が戦後すぐ二人の子ども(私の弟と妹)を亡くした時、お世話になってからのご縁です。その両親も亡くなり、今は信行寺に納骨しております。私がお寺にお世話になるようになったのは、親鸞聖人の七百五十回大遠忌法要のお手伝いをさせて頂いたご縁です。今は「ほのぼの」編集の一員として頑張っております。

今回の号では「阪神淡路大震災」に関することを多く載せています。秀爾さんが掲載された写真は「震災追悼法要」の時にスライドで見せてもらった一部ですが、震災当時のことが甦りました。今は何事もなく生活させて頂いていることに感謝です。



空 早苗

* 信行寺のホームページが出来ました。

寺院内の様子や行事、寺報「ほのぼの」も創刊号から最新号まで閲覧できます。

神戸 信行寺

で

検索

してください。

クリック